

## コーチングスーパービジョンとは

人と関わる仕事(援助職)に携わる人のための開発とサポートのための内省的な会話です。スーパーバイザーとの対話を通じて、自分の仕事を振り返り、自分という人間がどうクライアントワークに現れているかを学び、自身とクライアントによりよく貢献できるよう内省を行います。

「自分自身の経験の生徒になる」こと(Zachary, 2002)、「自分の仕事の実践についてそれを促進し、深く振り返るための定期的でファシリテートされた時間」(Bond & Holland, 1998)、「健全な監督関係という安全で円滑な環境の中で、スーパーバイザーとして自分の仕事を紹介することで、自分の仕事から学ぶこと」(Michael Carroll 2011)とも表現されています

スーパービジョンはもともとカウンセリング、セラピーなどの「援助職」に対するスーパービジョンから始まっていますが、コーチングスーパービジョンも過去10年で急速に広まっており、グローバルで業界スタンダードの一部となっています。

## グループスーパービジョンとは

- 1人のスーパーバイザー(スーパービジョンをファシリテートする人)と数人のスーパーバイジー(スーパービジョンを受ける人)から構成されるスーパービジョンです。
- 時間は90分から120分が一般的で、毎回違うメンバーがケースを持ち込み、それをグループのメンバーと一緒にスーパービジョンを行います。
- この形式のスーパービジョンの利点は、スーパーバイザーが仲間からのフィードバックや、グループ内の他の人が発表する様々な実際のケースから学ぶことができることです。様々なインプットと、仲間の小さなコミュニティに属することで得られるさらなるサポート感が得られます

## スーパーバイザー ギブス仁子

企業の買収合併アドバイザー、戦略コンサルタント、グローバルソフトウェア企業日本支社の経営企画などを経て、2008年から独立してエグゼクティブコーチングに従事。

2013年にスーパービジョンと出会い、2016年にCSA(コーチスーパービジョンアカデミー)のディプロマを取得。ICF HKチャプター、EMCCアジア地域などでの活動を通じ、アジアでのスーパービジョンの普及に勤めてきている

ICF PCC, EMCC:ITCA (Individual Team Coach)

## プログラムの詳細

- Zoom開催  
月に1回 全5回
- 第三水曜日:9月20日、10月18日、11月15日、12月20日、1月17日
- 日本時間8時-9時半(90分)

## ご連絡先

satokogibbs@coachsupervision.jp